

個票 10 里山林の再生〔森 2(2)①8-4〕

(2011年作成)

配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	多様な緑地などの保全・創出		
配慮事例	樹林の整備・管理による多様な植生の回復		
内容	<p>●里山林の再生</p> <p>【解説】</p> <p>里山林では近年、かつてのような利用がされなくなり放置されることで荒廃が進み、生物多様性の低下といった問題が発生しています。</p> <p>地域の里山林の多様性を向上させるためには、このように放置された里山林を管理することにより再生させることが大切です。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <p>●整備目標とする樹林のタイプ</p> <p>兵庫県では、防災効果があり、生物多様性に富み、景観的にも美しい里山林を目指して里山林整備が進められ、兵庫方式とよばれています。</p> <p>●整備内容</p> <p>コナラ、アベマキなどの夏緑高木を保全し、種多様性や景観の阻害要因となっている照葉樹、ネザサ、つる植物を伐採し、明るい夏緑高林を育成します。</p> <p>●里山放置林管理の進め方</p> <p>①里山放置林管理を進めていくためには、管理計画を立てるために、学習や調査が必要です。</p> <p>②管理計画では、まず目標林を設定し、それに移行させるための除伐、間伐、刈り取りなどの管理作業を検討します。</p> <p>③管理作業後は、追跡調査を行い、効果を評価します。管理作業が十分な効果を与えていないときは、維持管理の中で管理方法を再検討しましょう。</p>		
	<pre> graph LR A[学習] --> B[調査] B --> C[管理計画] C --> D[管理作業] D --> E[追跡調査] E --> F[継続管理] F --> E </pre> <p>出典:1</p>		
参考資料	1 「里山放置林管理マニュアル」兵庫県立人と自然の博物館		